

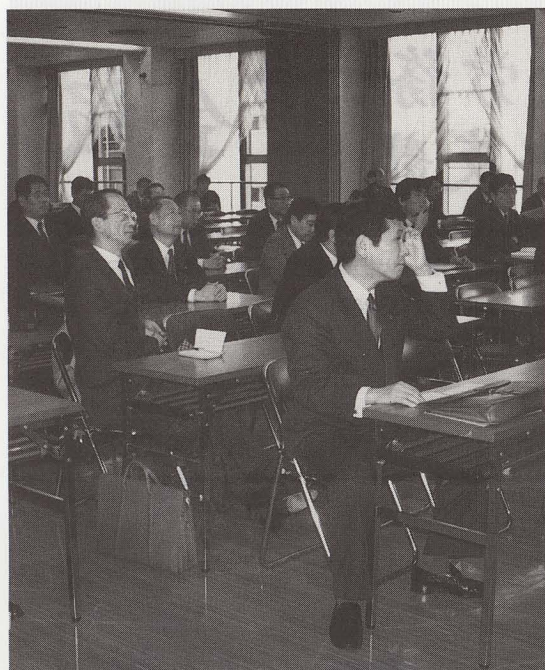
東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒102 東京都千代田区麹町3-12 矢崎麹町ビル 6階 大槻経営労務管理事務所内
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(5275)2801 発行人 大槻哲也



皇居・二重橋前



平成3年新春研修会

すもう道について

～力士の育て方、昔と今～

平成3年1月10日

於：電設健保会館

日本相撲協会 放駒親方(元大関：魁傑関)

去る1月10日、電設健保会館において新春研修会が開催され、放駒親方に講演していただきました。

日大相撲部中退、二度にわたる奇跡のカムバックで大相撲界を沸かせた、かつての名大関魁傑。真面目な土俵態度と、紳士的な人柄を覚えておられる会員も多いと思う。現在、阿佐ヶ谷で放駒部屋の親方として、横綱大國を筆頭に20数名の力士を育てておられるが、「力士の育て方、昔と今」と題して御講演を頂いた。

現在相撲界には、約800人の力士がいて幕内力士は62名。新弟子は前相撲、本中で二番続けて勝って初めて序の口として番付に載る。全部で12の段階がありその頂点が横綱である。

昭和41年当時の花籠部屋には、現理事長二子山の若ノ花や7若といわれた若秩父などがいた時代で、自分は64人目の新弟子として入門した。新弟子は先輩関取が稽古を始める前の朝3時頃起きて稽古した。大勢いても部屋には土俵は一つ。その土俵を64人で奪い合う。

御幣が立ててある土俵の土を、朝一番にけとばした者が最初に、そして何時間でも稽古してよかった。稽古をしないと強くなれない。強くなれば、番付けも上がらない。番付けが上ると、「遅く起きて、ゆっくり稽古して、早く風呂に入り、中身が一杯のチャンコを先に食って、昼寝できる」特権が与えられるので、口で教えなくても率先して稽古し、強くなっていった。

九州の巡業先では、朝一番の稽古の権利を獲得するため、土俵に掛けたシートにもぐり寒さをしのぎながら待ったこともある。いざシートが剥がされたら居るわ居るわ。金剛、黒姫山、貴ノ花、三重ノ海らが同じシートで寝ながら待っていた。「同じ考えで、同じように努力したもの」は三役力士に、大関そして横綱になっていった。

自分も平幕を経て、優勝し大関となった。その位置を維持しようとしたが、肝臓を病み陥落。それまで廻りがチャホヤしてくれたのに、陥落すると白い目で見られているようでひがんだこともあった。だが、時間がたって体調が回復するにつれ考え方が変わった。

目標を獲得してホッとし、その地位を維持しようとした自分は落ちた。その上を目標とした人は横綱になった。再度大関となって上を目指したが、又陥落した。大関旭国との水入りの大一番では、どうしても勝とうと思い引き分け寸前に勝つことが出来た。旭国は後に「自分は引き分けに持ち込みたいと思っていた」と語ってくれたが、考え方、気持ちの持ち方一つで勝負も、人生も変わるものである。この相撲を最後に現役を引退した。

さて、引退して部屋を持った。昔は相撲取になる子がいっぱいいた。今は中学を出ると皆高校へ行く。進学しない3～4%の子供達の中から新弟

子を集めるので大変。今の子供は大事に育てられて個室まで与えられている。

相撲部屋は、大部屋でプライバシーもなにもない。入門前には相撲部屋の厳しいことや自由がないことは、親も本人も分かっていると言う。入門の話が決まって子供の家に迎えに行く。盛大な壮行会をやり、いざ出発の朝「どうしても我慢が出来ないときは、帰って来い」との親の一言で、10出来る我慢を7位で逃げ帰るはめにしてしまう。「新弟子が中身の無いチャンコを食った」「兄弟子とは無理偏に拳骨」というのは過去の話。確かに相撲部屋は厳しいが、自分で我慢しないで人のせいにするか、自分に向いていないと言う。やるべきことをやらず言う事だけは言う。挙句のはてに、自分には素質がないと諦める。

大関・横綱は確かに素質も大切だが、努力次第で誰でも関取にはなれる。どれだけ相撲を好きになるか、好きになれば我慢出来、稽古もして強くなる。上に上がれば昔と同じ。だから今の子は、「だましてのせて」強くしてやるしかない。

力士の育て方なんて、本当はよく分からない。相撲界に三ナイという言葉がある。病気シナイ、

怪我シナイ、気にシナイの三ツだが健康管理が出来ていない子が、夜逃げする。怒られても気にシナイ子が強くなる。少ないところから集めて逃げられたらアウト。だから今は結構大事にしている。力士が強いとマスコミは力士本人の努力を誉める。負けると「親方の指導が悪い」と言う。そうした意味で今日では、人を集めることもだが、人を育てることも本当に難しくなった。

人の一生は、川の流れと一緒に、自分は水草にでもいいからしがみついて、その流れに逆らって、少しでもゆっくり流れて行こうと思う。それが名を残す道かなと思う。

最後に、そうした私が今日ここで社会保険労務士の皆さんに会って、40年後に又再びお会いでき、どんな流れだったかを、お話をさせてもらえたら嬉しい。……

約束の1時間がアッという間に流れた、すばらしいお話で、労務管理に携わる者として大変感銘を受けました。紙面を借りて親方には、改めて厚く御礼申し上げます。

研修委員長 恩田 和 明



第14回定例支部会議・ 政治連盟第5回定期支部大会が 開催されました。

と き／平成3年3月28日 ところ／電設健保会館

定 例 支 部 会 議

●平成2年度事業報告

1. 支部会議に関する事項

H 2 . 3 . 14 電設健保会館

1. 平成元年度事業報告承認に関する件

2. 平成2年度事業計画(案)承認に関する件

2. 正副支部長・委員長会に関する事項

H 2 . 4 . 11 東京会・会議室

H 2 . 5 . 9 電設健保会館

H 2 . 6 . 14 東京トラック事業健保会館

H 2 . 7 . 6 電設健保会館

H 2 . 8 . 23 電設健保会館

H 2 . 9 . 12 電設健保会館

H 2 . 10 . 12 東部金型工業健保組合保養所『金型かわじ荘』

H 2 . 11 . 14 東京会・会議室

H 2 . 12 . 12 神田ばし『葵』

H 3 . 1 . 10 電設健保会館

H 3 . 2 . 20 龍名館本店・第3会議室

H 3 . 3 . 13 電設健保会館

H 3 . 3 . 28 電設健保会館

平成2年度予算の配分に関する件

第1四半期の事業実施に関する件

算定基礎届相談コーナー打合会の開催に関する件

第3回研修会の開催に関する件

第4回研修会(管外)の開催に関する件

10月以降の事業実施に関する件

第4回研修会並びに交歓懇親会の役割分担に関する件

第5回研修会並びに新春賀詞交歓会開催に関する件

第4四半期の事業実施計画に関する件

第5回研修会並びに新春賀詞交歓会の運営に関する件

第14回定例支部会議の開催に関する件

定例支部会議上程議案に関する件

定例支部会議並びに交歓懇親会の運営に関する件

3. 幹事会に関する事項

H 2 . 5 . 9 電設健保会館

H 2 . 9 . 12 電設健保会館

H 2 . 12 . 12 神田ばし『葵』

H 3 . 3 . 13 電設健保会館

第1四半期の事業実施に関する件

10月以降の事業実施に関する件

第4四半期の事業実施計画に関する件

定例支部会議上程議案に関する件

4. その他の行事に関する事項

H 2 . 4 . 1 東京商工会議所

}

H 3 . 3 . 31

H 2 . 9 . 7 中央労働基準監督署

専門相談員として

山崎雅也・國岡喜久・横尾直子・松原敏明

労働保険指導員感謝状受賞

東京労働基準局長感謝状 3名

中央労働基準監督署長感謝状 7名

特別相談員として

小口隆明・森莞子・目黒健

H 2 . 11 . 6 東京都情報連絡室

}

H 2 . 11 . 8

H 2 . 11 . 13 地下鉄銀座線上野駅前

H 3 . 2 . 21 電設健保会館

労働・社会保険関係街頭相談コーナー

労働時間に係る政令改正等説明会

5. 研修会に関する事項

H 2 . 6 . 14	東京トラック事業健保会館	テーマ『日本の金融政策と今後の見通し』
H 2 . 7 . 6	電設健保会館	テーマ『平成2年度算定基礎届の手続きについて』
H 2 . 9 . 12	電設健保会館	テーマ『共済年金制度の概要について』
H 2 . 10 . 12	東部金型工業健保組合保養所	テーマ『新入社員の礼儀と作法』
H 2 . 10 . 13	『金型かわじ荘』	
H 3 . 1 . 10	電設健保会館	テーマ『すもう道について』
H 3 . 3 . 13	電設健保会館	テーマ『ポスト湾岸戦争と日本経済の動向』

6. 会報に関する事項

平成2年7月 第38号発行／2年10月 第39号発行／3年1月 第40号発行／3年3月 第41号発行

7. 懇親会・旅行に関する事項

H 2 . 9 . 12	電設健保会館	関係行政機関との懇親会
H 2 . 10 . 12	東部金型工業健保組合保養所	研修親睦旅行
H 2 . 10 . 13	『金型かわじ荘』	
H 3 . 1 . 10	電設健保会館	新春賀詞交歓会
H 3 . 3 . 28	電設健保会館	定例支部会議懇親会

8. 第一部会に関する事項

H 2 . 6 . 6	電設健保会館	研修会『女ひとり激動の東欧に行く』／例会
H 2 . 9 . 11	電設健保会館	研修会『過労死と労災補償』／例会
H 2 . 10 . 18	東京実業健保会館	研修会『改正入管法とその事務手続き』／例会
H 2 . 11 . 15	電設健保会館	研修会『人脈づくりのABC』／例会
H 3 . 2 . 12	電設健保会館	例会

●平成2年度収入支出決算報告（平成2年4月1日～平成3年3月31日）

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
支部業務費	880,450	会議費	304,570
第一部会業務費	1,014,300	研修費	575,601
第二部会業務費	1,219,500	会報費	578,000
雑収入(利息)	15,120	通信費	528,697
		印刷費	149,627
		厚生費	464,006
		渉外費	119,640
		事務費	175,019
		交通費	219,090
		(小計)	3,114,250
		差引残高	15,120
合 計	3,129,370	合 計	3,129,370

●平成3年度事業計画

湾岸戦争が終わり、クウェートを始めとする中東地域の復興と安全保障体制の確立が、石油に依存する我国経済にとって最も重要な問題であり、国際社会に生きる日本の役割をあらためて痛感させられます。

国内経済は、新たな世界秩序の構築の中で先行きに不透明感があるものの、依然堅調に推移しており、その中で人材不足問題は一段と深刻で、労働時間短縮の推進等労働条件の改善、高年齢者雇

用、パートタイマー、外国人労働者の扱い等は、今後とも大きな課題です。

また、経済社会の推移に合わせて、労働・社会保険諸法令の改正等、社会保険労務士にとってますます業務多端な時期を迎えています。

これらの業務に専門家として万全を期し、対応していくためには、知識、技能、情報等に耳目を集め、より一層の資質向上に努めなければなりません。

今年度の支部活動は、会員一人ひとりが例会、研修会、行政協力事業等の機会を通じて、社会保険労務士としての社会的責任と専門家としての自覚をもって行動し、これを支部活動の原動力にすることです。

1. 支部運営の基本方針

(1) 組織の強化

- ① 開業会員、勤務等会員は常に一体であり、相互に思いやりの精神と、お互いの立場を尊重し、協力をもってより一層強固な団結を図る。
- ② 支部活動と各委員会活動の活性化を図る。
- ③ 新規入会者、新規開業者等を対象とした懇談会を行なう。
- ④ 諸会議、各委員会活動等の記録、保存等の充実・整備を図る。
- ⑤ 会員および会員事務所職員の体育事業、福利厚生事業の充実・発展に努める。
- ⑥ 社会保険労務士厚生年金基金、国民年金基金の設立と加入促進に積極的に協力する。
- ⑦ その他組織の強化に必要な事業を行なう。

(2) 資質の向上（業務改善、法律、人事労務問題）

- ① 研修会の開催
- ② 新規入会者、開業準備者セミナーの開催

(3) 会報の発行

(4) 行政機関等関係団体との協力関係の推進

- ① 労働保険年度更新事務
- ② 算定基礎届相談コーナー
- ③ 名札掲示等

2. 事業計画の具体的施策

各委員会の計画を基本として、知識、技能等資質の向上、業務の改善などを図るための研修会を開催するほか、会員相互の親睦を目的とした事業を実施し、和の精神の高揚に努める。さらに組織を通じて諸事項の伝達並びに意見具申のできる効率のよい支部例会を展開する。

また、部会活動については、自主的運営とし、各部会の会員に対し、有効適切な諸事業を積極的に実施する。

なお、支部行事については、年間スケジュールをたて、予め会員に周知徹底を図る。

(1) 支部会議日程

平成4年3月25日(水)

(2) 正副支部長・委員長会開催予定日

平成3年	4/10(水)	7/10(水)	11/13(水)	平成4年	1/16(木)
	5/8(水)	9/11(水)	12/11(水)		2/12(水)
	6/12(水)	10/18(金)			3/11(水)
					3/25(水)

(3) 幹事会開催予定日

年4回正副支部長・委員長会と同日に開催

平成3年5月8日(水) 9月11日(水) 12月11日(水) 平成4年3月11日(水)

(4) 例会の開催予定日

3年	6/12(水)	9/11(水)	4年	1/16(木)
	7/10(水)	10/18(金)		3/11(水)

(5) 委員会の開催予定日

年4回程度とし、必要に応じて開催する。

(6) 研修会の開催予定日

3年	6/12(水)	9/11(水)	4年	1/16(木)
	7/10(水)	10/18(金)		3/11(水)

(7) 会報の発行予定

年4回発行する。(6月、9月、1月、3月)

(8) 懇親会の開催予定

平成3年 9月11日(水) 10月18日(金)～19日(土)

平成4年 1月16日(水) 3月25日(水)

(9) その他の行事

- ① 東京商工会議所相談窓口 毎月開設する。
- ② 労働保険新規加入事業場説明会 毎月開設する。
- ③ 算定基礎届相談コーナー 8月に開設する。
- ④ 労働保険年度更新事務協力 5月、6月に実施する。
- ⑤ 関係官庁等との事務打合せ 随時開催する。

●平成3年度収入支出予算(収入は2年度実績額を計上)

科目	収入(円)	支出(円)
支部業務費	880,450	880,450
第一部会業務費	1,014,300	1,014,300
第二部会業務費	1,219,500	1,219,500
雑収入(利息)	15,120	
返納金(東京会へ)		15,120
合計	3,129,370	3,129,370

●新役員の選任

支部長：相馬誠一

副支部長：渡辺和洋 森 莞子 富田秀子

新井功一 沢崎 昇 田島 守

岡本晃一 岩田省一

幹事：大槻哲也 金綱久夫 柏木弘文 松林清雄

雨宮 功 恩田和明 森萩忠義 小口隆明

赤森伸子 石原健三 山崎雅也 吉瀬君江
横尾直子 石山幸子 長森敏泰 仲野三郎
古川泰一郎 榊原昭夫 田中 功 山本弘之
寺島忠夫 熊谷和夫 島田 久 石川 宏

小林昭雄 牧野武夫 小松茂樹 玉上信明
葛西 毅 浅香博胡 橘高正風
会計監査：新堀英行 手塚和男

政治連盟定期支部大会

●平成2年度事業報告

平成2年度は、中東の湾岸戦争、リトアニア共和国のソ連からの独立要求など全く予断を許さない、混々とした国際情勢にあったが、一方、国内では国政レベルの選挙もなく、平成3年4月の

統一地方選挙を迎えるのみで、比較的平穏な1年であった。このため、さしたる事業活動を行うことなく、東社労政治連盟及び東社労千代田・中央支部と連けいを取りながら今後に備え、政治団体としての力の蓄積に努めた。

■事業活動の概況

1. 平成2年 3月14日 第4回支部定期大会 於 電設健保会館
2. 平成3年 1月10日 東社労千代田・中央支部合同による新年賀詞交歓会開催
千代田、中央区各区長及び各区議会政党に案内
3. 平成3年 2月13日 幹事会 於 東葉健保健康開発センター
地方選の対応について協議
4. その他 支部会報紙に記事掲載、PRにつとめた

●平成2年度収支の状況

I. 収入の総額	946,719円	II. 支出の総額	119,214円
(1) 前年からの繰越額	340,460円	(1) 組織活動費	79,214円
(2) 本年の収入額	606,259円	(2) 機関誌の発行	40,000円
		翌年への繰越額 (I-II)	827,505円

●平成3年度運動方針

本年度も基本的には、当支部規約の定めるところに基づき、目的達成のため、東社労政治連盟並びに東社労千代田・中央支部と連けいを一層密にし、会員の協力を求めながら、社会保険労務士制

度の発展向上につとめるものとする。

既設の広報、財務各委員会の積極的な活動によって、政治団体としての機能が効果的に発揮できるよう、万全を期するものとする。

●平成3年度収入支出予算

I. 収入の総額	744,000円	II. 支出の総額	580,000円
(1) 前年からの繰越額	600,000円	(1) 組織活動費	400,000円
(2) 本年の収入額	144,000円	(2) 選挙関係費	100,000円
		(3) 機関誌の発行	40,000円
		(4) 調査研究費	40,000円
		翌年の繰越額 (I-II)	164,000円

●新役員の選任

支部会長：田島 守

支部副会長：古川泰一郎 寺島忠夫 松林清雄
金綱久夫

幹事長：山本弘之

副幹事長：恩田和明

幹事：岩田省一 岡本晃一 橘高正風 榊原昭夫
田中 功 仲野三郎 石川 宏 小山 昇
渡辺和洋 新井功一 関口尚孝 岡崎正義
秋葉俊夫 吉本伸太郎 吉瀬君江

監査：小松茂樹 山崎雅也

会 員 異 動 状 況

項目 地区	平成 2 年10月31日現在			異 動 (増減)			平成 3 年 1 月31日現在		
	開 業	勤務等	計	開 業	勤務等	計	開 業	勤務等	計
麴 町	41	138	179	0	3	3	41	141	182
神 田	63	122	185	0	3	3	63	125	188
日 本 橋	32	104	136	0	3	3	32	107	139
京 橋	45	97	142	△1	3	2	44	100	144
合 計	181	461	642	△1	12	11	180	473	653

■新しく当支部会員になられた方を紹介します。

入 会 年 月	氏 名	開業・勤務等別	備 考
平成 2 年12月	片山 大助	勤務等	港支部より
"	内山 洋司	"	
"	日向 ゆう子	"	
"	望月 高輝	"	
"	伊東 康夫	"	
平成 3 年 1 月	竹内 敏雄	"	新宿支部より 渋谷支部より 荒川・足立支部より
"	村松 旦	"	
"	米山 宏	"	
"	小暮 静男	"	
"	中村 由喜夫	"	
"	阿部 敬二	"	
"	武田 耕吉	"	
"	渡辺 幸一	"	
"	伊藤 善之助	"	
"	島田 正男	"	
平成 3 年 2 月	山崎 信男	"	

あ ど が き

広報委員長 榊原 昭夫

花の雲 鐘は上野か浅草か
何となく浮き浮きする季節となりました。
皆様方には年度変わりの事務や新人教育など、いろいろとお忙しいことと思います。
この号をもちまして役目が終わります。
私のような素人が広報委員長を仰せつかつ

てどうなることかと思いましたが、広報委員の皆さんに助けられて何とか責任を果たすことができました。

この2年間の会員皆様のご協力に対しまして心からお礼申し上げます。

4月からの新役員も決まりました。
これからのますますのご活躍を祈念して申し上げます。